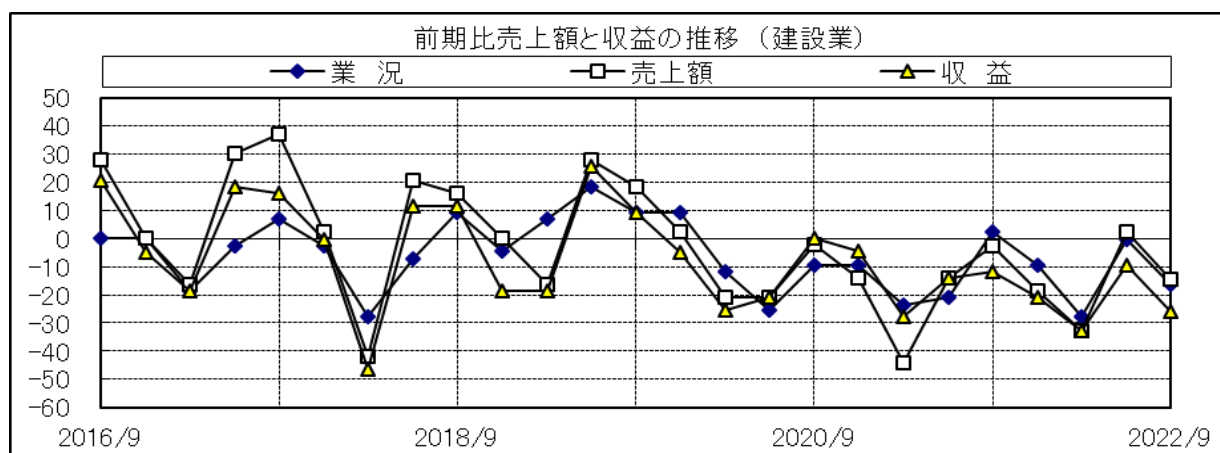


建設業 43 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
業 況	-27.8	-0.1	-16.3	-18.7
売上額	-32.6	2.3	-14.3	-23.2
収 益	-32.6	-9.3	-25.7	-21.0

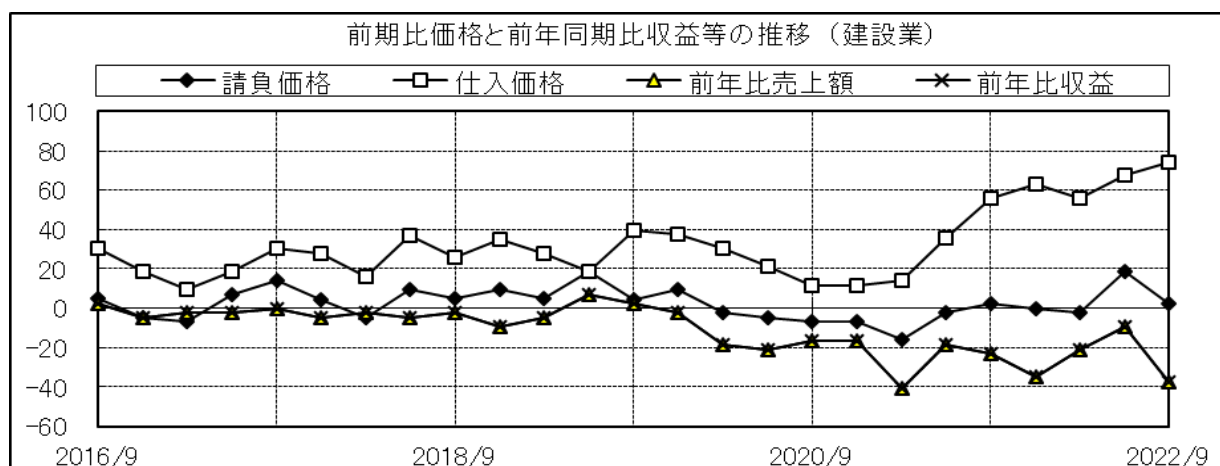
今期の業況判断 D. I. は△16.3 で、前期比 16.2 ポイント下降。前年(2.4)比 18.7 ポイント下降した。地区別 D. I. の水準は高い順に、浦河が最も高く、次に様似、広尾、静内、えりもと続き、三石が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は、△14.3 で、前期比 16.6 ポイントの下降。収益判断 D. I. は△25.7 で、前期比 16.4 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
請負価格	-2.4	18.5	2.4	7.0
仕入価格	55.8	67.5	74.4	72.1

請負価格判断 D. I. は 2.4 で、前期比 16.1 ポイント下降。前年(2.3)比 0.1 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 74.4 で、前期比 6.9 ポイント上昇し、前年(55.8)比 18.6 ポイントの上昇となった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
残業時間	-9.4	-7.0	-22.0	-11.6
人手状況	-18.7	-28.0	-32.6	-34.9

残業時間判断 D. I. は△22.0 で、前期比 15.0 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△32.6 で、前期比 4.6 ポイント下降し、人手不足感は強まった。

□ 設備投資の動き

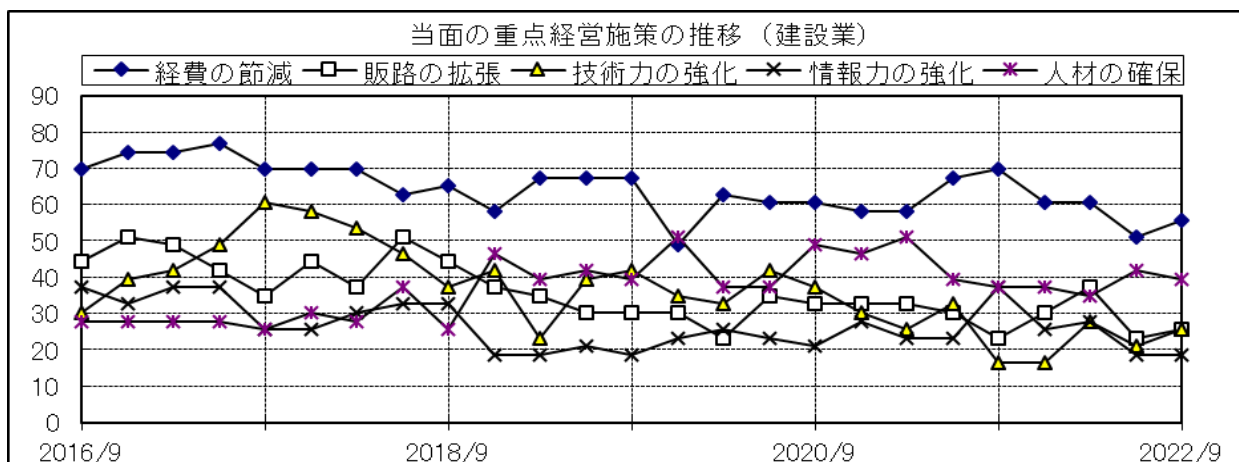
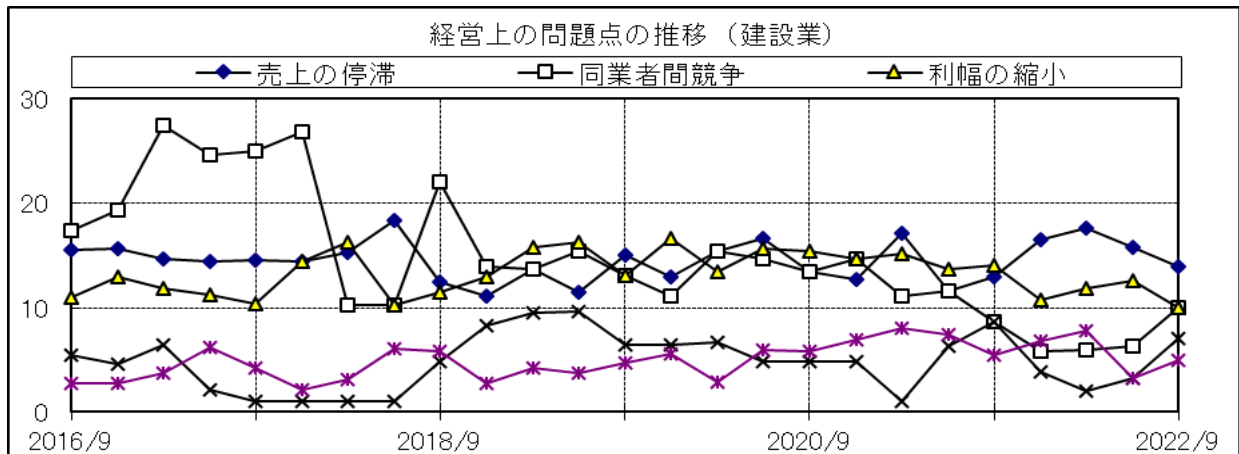
設備投資の充足感を示すD. I. は△11.6で、前期(2.4)比14.0ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は16.3で、前期(7.0)比9.3ポイント上昇した。設備投資は、前期3社に対し、7社の実施となった。来期の設備投資は、3社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「材料価格上昇」が26.0%と最も多く、次に「売上停滞減少」14.0%、「人手不足」12.0%、「同業者競争」・「利幅縮小」が10.0%、「人件費増加」7.0%、「下請確保難」・「地場産業衰退」が5.0%、「技術力不足」・「天候不順」が4.0%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が55.8%と最も多く、次に「人材確保」39.5%、「販路拡大」・「技術力強化」が25.6%、「情報力強化」18.6%、「教育訓練強化」7.0%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△18.7と、今期比2.4ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は△23.2と、今期比8.9ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は△21.0と、今期比4.7ポイントの上昇を見通している。

予想請負価格判断D. I. は7.0と、今期比4.6ポイントの上昇を見通している。

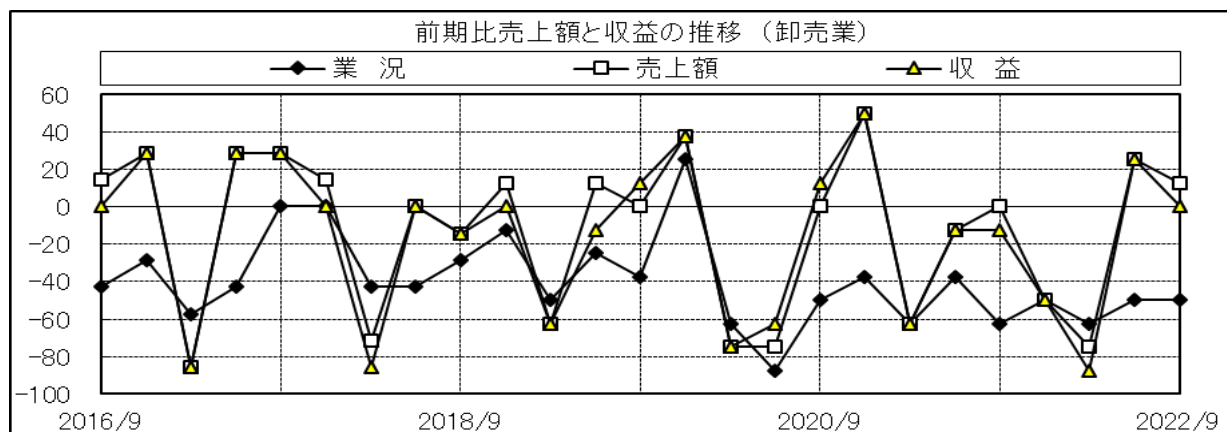
予想仕入価格判断D. I. は72.1と、今期比2.3ポイントの下降を見通している。

卸売業 8企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 景況

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
業況	-62.5	-50.0	-50.0	-50.0
売上額	-75.0	25.0	12.5	12.5
収益	-87.5	25.0	0.0	-25.0

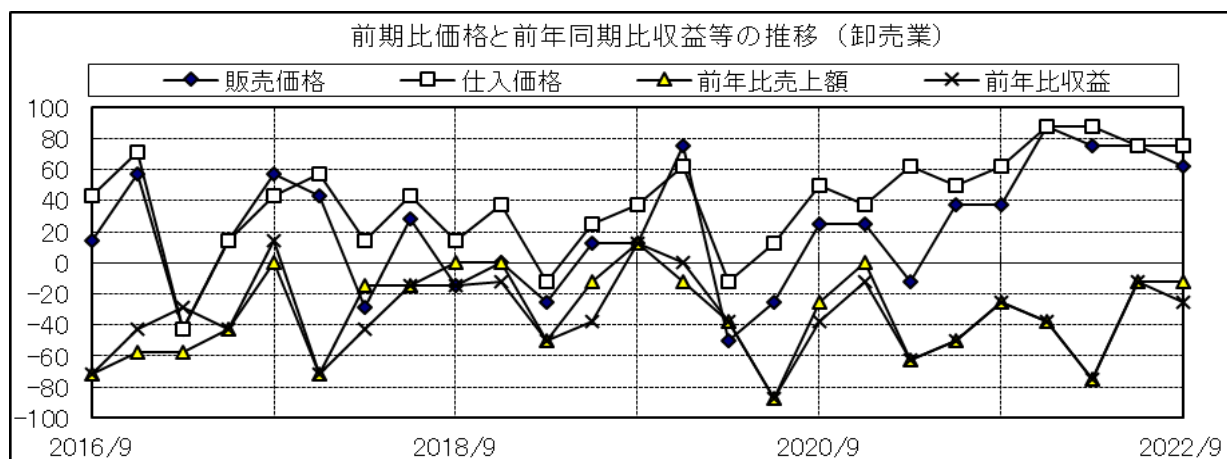
今期の業況判断 D. I. は $\Delta 50.0$ で、前期と同水準となった。前年 ($\Delta 62.5$) 比 12.5 ポイント上昇した。地区別の水準は、浦河地区は下降、静内地区は横這い、様似地区は上昇となった。売上額判断 D. I. は 12.5 で、前期比 12.5 ポイント下降した。収益判断 D. I. は 0.0 で、前期比 25.0 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
販売価格	75.0	75.0	62.5	50.0
仕入価格	87.5	75.0	75.0	62.5

販売価格判断 D. I. は 62.5 で、前期比 12.5 ポイント下降した。前年 (37.5) 比 25.0 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 75.0 で、前期と同水準となった。前年 (62.5) 比 12.5 ポイント上昇した。業種別では、水産業、食品業ともに、販売価格・仕入価格は横這いとなった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
残業時間	0.0	0.0	12.5	0.0
人手状況	-12.5	0.0	0.0	0.0

残業時間判断 D. I. は 12.5、前期比 12.5 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断 D. I. は 0.0 で、前期と同水準となり、人手不足感に変化は無かった。

□ 設備投資の動き

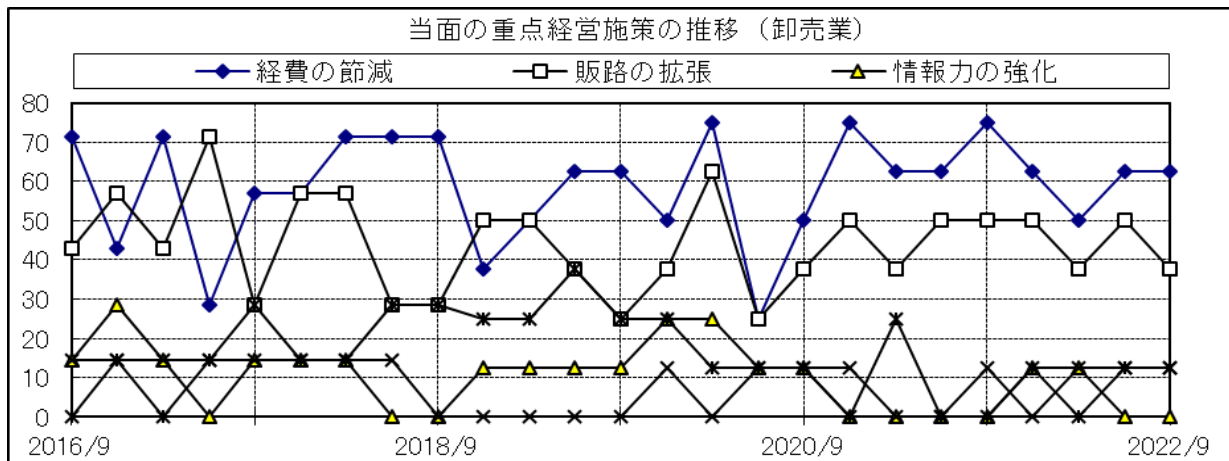
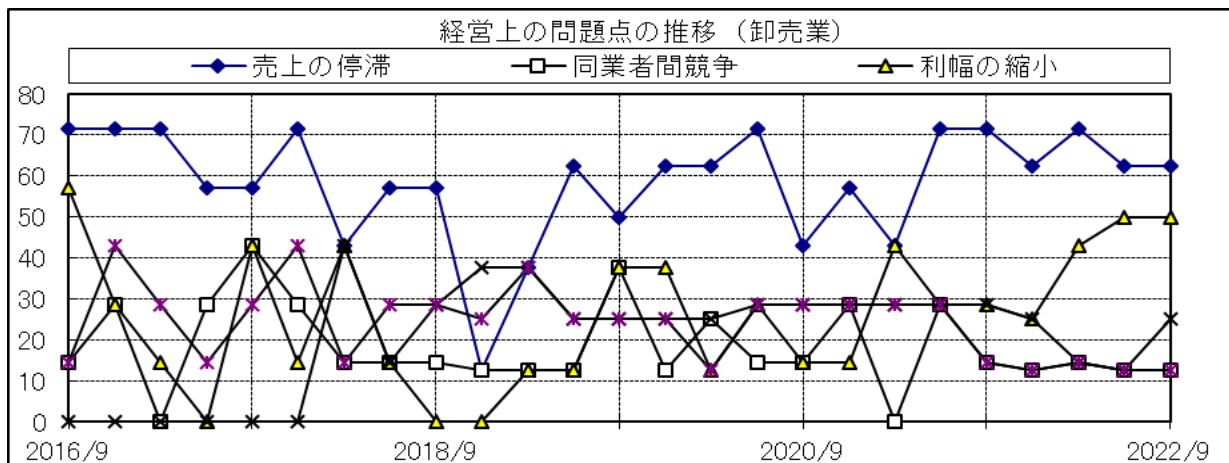
設備投資の充足感を示すD. I. は0.0で、前期(0.0)と同水準となった。

設備実施企業割合は12.5で、前期(0.0)比12.5ポイント上昇した。設備投資は、前期0社に対し、1社の実施となった。来期の設備投資予定は1社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が62.5%と最も多く、次に「利幅縮小」50.0%、「値上げ要請」37.5%、「販売商品不足」・「取引先減少」・「店舗の老朽化」が25.0%、「同業者競合」・「天候不順」・「地場産業衰退」が12.5%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が62.5%と最も多く、次に「販路拡大」37.5%、「新事業開始」・「人材確保」・「流通経路見直し」・「取引先支援」・「不動産有効活用」が12.5%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△50.0と、今期と同水準を見通している。

予想売上額判断D. I. は12.5、今期と同水準を見通している。

予想収益判断D. I. は△25.0と、今期比25.0ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断D. I. は50.0と、今期比12.5ポイントの下降を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は62.5と、今期比12.5ポイントの下降を見通している。